

寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになったこの頃。
春はもうすぐそこに…今年度もあと一ヶ月、進級にむけて新たな1歩を踏み出そう！

節分の集い

今年は「お腹の中に鬼がいる」をテーマに
節分の由来を子どもたちに伝えました。
豆まきや、歌「おにのパンツ」を踊って楽しみました♪



りす 親子行事

皆で手遊び★

1人でできるよ
「サーキット」



1.2.3で「サーキット☆」

友だちとワクワク♪
「フルーツバスケット」

ひよこ

節分の集いでは、初めて鬼をみたり、
鬼のパネルに向かって新聞紙を使った
豆まきをしたりと、季節の行事に触れ
ました。

また、寒さに負けず戸外でも元気
いっぱい走り回り、園庭内を散策し
て石や葉、枝を見つけたりと、小さな
発見が沢山ありました。

今月は、鉄棒等を使って、ぶら下
がりくぐり抜けたりする等、サー
キットを楽しむ中で新たな動きを経験
できるようにしてゆきます。

また、朝の会ではストーリー性がある
絵本やリズム・歌のある絵本を用意し、
子ども達が集中しやすいように
工夫してゆきます。

室内では、タンポやシールを使用し、
指先を使った製作活動を取り入れ、戸
外ではシャボン玉に向かって走るなど
の、身体を動かす活動を進めてゆきま
す。

遊びや絵本を通して、進級を見据え
た生活へと繋げられるよう、子ども達
の気持ちに寄り添いながら一緒に楽し
んでゆきます。



申 奈央

りす

暦では春を迎えましたが、まだまだ
寒い日があり、降る雪を見ては喜んだり
、手を洗う時には水の冷たさを感じ
たりしています。

言葉で思いを伝えることが少しずつ
出来るようになってきた子どもたちは、
「寒いね〜」「冷たいね！」と冬を感じ
ながら言葉で表現することも増えて
きました。

2月は保護者の方々と一緒に「親子
ふれあい参加」を行うことが出来、と
ても嬉しく感謝しております。

りす組で過ごすのも、残すところ後
ひと月になりました。自分で着替えや
身の回りのことが出来るようになって
きた子どもたち。

オムツで排泄をすると保育士に伝えて
くれたり、トイレでの排泄に成功し喜
ぶ姿も増え、たくさんの成長が見られ
ます。

進級に向け、りす①組②組一緒に遊
ぶ機会も更に増やし、うさぎ組の保育
室で遊ぶ機会を取り入れたり、うさぎ
組が遊んでいる姿を見ながら進級する
ことへの期待を膨らませることができ
るよう計画しています。

残りの日々を子どもたちが不安にな
らないよう寄り添いながらゆっくりと
関わってゆきます。

藤井 邦子

うさぎ

先日の参観では、多くの保護者の方
に普段の子どもたちの様子を知ってら
う事ができました。お時間を作って
いただき、ありがとうございます。

2月は、戸外でたくさん身体を動か
したり、様々な製作に取り組んだりし
て楽しみました。

戸外では、他のクラスの子とも一
緒に遊ぶなかで異年齢児との関わり方
を少しずつ知り、一緒に遊んでもらっ
たり、自分よりも小さな子どもに玩具
を貸したり自ら声を掛けたりしよ
うとする姿がありました。

今月も戸外でしっかりと身体を動か
したり、自然散策を行ったり、室内で
も集団での遊びを取り入れ、他児と関
わる楽しさを十分に味わえるように
してゆきます。

またうさぎ組での生活も残り1カ
月となりました。くま組に向けて準備
を進めていますが、子どもたちがより
期待感を持って過ごせるよう支えてゆ
きます。

今年一年、たくさんご協力頂きあり
がとうございました。残りの日々もよ
ろしくお願い致します。

大谷 朱音

くま

2月は寒い日が続きましたが、寒さ
に負けず戸外で沢山身体を動かして遊
びました。

その中でも氷おにごっこや、バナナ
おにごっこは子どもたちの溢れるエネ
ルギーを最大限に発揮できる遊びの一
つで、ただ逃げるだけでなく、おにに
捕まった友だちを助けることも考えな
がら逃げる必要があります。

自分のしたい事だけをするのではな
く、皆がルールを守って遊べるよう
になったからこそ、楽しめる遊びが増
えました。

今月も引き続き、ルールのある遊び
を通して、友だちとの関わりを深めて
ゆきます。

早いもので、くま組最後の月となり
ます。子どもたちが進級に期待を持
てるようにすることをはじめ、何より
子どもたち自身が大きく成長したこ
とを実感する最後の1ヶ月を過ごしま
す。

坂本 拓也

ぞう

早いもので、ぞう組での生活も残す
ところ1ヶ月となりました。

2月はバレンタインクッキー作りや
お店屋さんごっこ、園外保育など、
季節感のある物を取り入れながら、
子どもたちにとってワクワクがたく
さん詰まった日々を過ごしました。

今月は、いよいよきりん組進級へ向
かう1ヶ月となります。進級を楽し
みにする反面、環境の変化への不安も
あり、心の揺れ動きが増えています。

また、ともだちだいすき！な時期
でもあり、自分の思いをしっかりと伝
えることが出来るようになる分、思
いがぶつかり合うことも多くなっ
ています。

人間形成の土作りである大切なこ
の時期に、少しでも多くの経験をする
ことでこころの強さにつなげます。

ぞう組ラスト一か月、元気に走り
抜けましょう！

大杉 静香

きりん

雪が降ったり、園外活動があったり、
冬の雰囲気を楽しんだ2月。

「〇〇する人集まれ〜！」「後で〇〇
作ろうね！」と、子どもたち同士のや
り取りが飛び交い、「また明日！」と
友だちとの約束を楽しみに帰る姿が
印象的でした。

また、就学への期待が高まるよう、
絵本や“学校ごっこ”を通して小学
校に親しみが持てる活動にも取り組
みました。みんなで点繋ぎ(数あそび)
等に取り組み、「お勉強楽しかった！」
と緊張や不安が少し和らいだよう
に感じます。

いよいよ、卒園の日が迫っています。
「今」という時間を大切に、きりんぐ
みの「仲間」みんなと一緒に過ご
せる時間を存分に楽しみます。

また、身近な人、大切な人への“感
謝の気持ち”に気付き、子どもたち
なりの表現でしっかりと相手に伝え
られるよう導きます。

“ひとりみんなのために
みんなはひとりのために…♪”

山田 実咲

